

さいたま市シニアユニバーシティ第4期北大宮校
史跡クラブ活動報告

発行:2020年(令和2年) 1月 7日(火)

NO. 28

五輪イヤーマスク開け・・・⇒ 史跡クラブは、

東京・谷中七福神めぐりで始まる!



最初の寺、東覚寺(福祿寿)

のんびりと谷中の街散歩

新しい年を迎えた最初の日曜日(5日)。史跡クラブは今年最初の「史跡めぐり」に選んだ地は、『東京・谷中七福神めぐり』だ。およそ二五〇年前に始まったとされる江戸最古の七福神めぐり。他の七福神は神社も入るが、谷中七福神は寺院だけだ。地域は、東京都台東区・荒川区・北区に点在する七寺院に祀られる七福神の巡礼札所が対象だ。信仰心の薄い私たちにとって、正月中の運動不足を解消する、楽しい小旅行に等しいか? 江戸の下町情緒残る谷中の街。ゆっくりのんびりと歩いた。

今年もよろしく!!

大宮駅で待ち合わせしていると、まばらに着物姿で身を包んだ若い女性たちが目に入る。午前9時45分、史跡クラブのメンバー6人が元気に姿

を現した。めいめいに新年のあいさつをしたあと、JR京浜東北線に乗って、田端駅を目指した。車内では、『年末年始におせちを食べすぎた。』とか、『風邪をひいて寝込んだ。』とか、『年の初めに伊勢方面に旅行した』『孫が正月に遊びに来た』等々の話題で賑わった。目的地のJR田端駅に着いた駅前北口広場には、私たちと同じような、七福神めぐりの団体や、カメラを抱えた人、七福神めぐりの地図を見ている人などで賑わっていたが、人出は意外と少ないように思えた。

東京で一番古い

七福神めぐり

谷中七福神めぐりは江戸時代から現代まで、多くの人々が行き交った東京で一番古い

七福神めぐりといわれている。行程は次のとおりだ。

※『谷中七福神めぐり』の行程

- JR 田端駅 ↓ ① 東覚寺(福祿寿) ↓ ② 青雲寺(恵比寿、花見寺) ↓ ③ 修性院(布袋尊) ↓ ④ 長安寺(寿老人) ⑤ ↓ 天王寺(毘沙門天) ↓ ⑥ 護国院(大黒天) ↓ ⑦ 不忍池 弁天堂(弁財天) ↓ JR 上野駅 約3時間(6km)

七つのお寺をめぐるって、

参加者全員 満願成就

田端駅北口から左折、500メートル(徒歩5分)、最初にお参りする、東覚寺(福祿寿)だ。お寺入り口右側の不動堂前の一対の仁王像は「赤紙仁王」と呼ばれている。病のある身体と同じ部位に赤紙を貼って祈願すると、病気が治るとも病気が癒えた人は、わらじを奉納するのがならわしとか。

山門を入って右手で、甘酒が振舞われていた。寒い身体を温めてくれて、有難かった。

ここから1キロ(11分)歩いて青雲寺(恵比寿)。つづいて100メートルほど歩いた修性院(布袋尊)は靴を脱いでご本堂に上がる。次が、お寺から700メートル(13分)ほど歩いて長安寺(寿老人)、靴を脱いでご本堂に。次は、谷中霊園を通

り、天王寺(毘沙門天)、境内には大仏が鎮座している。そこから1キロ弱(17分)ほ



七番目の寺 不忍池弁天堂(弁財天)

～次回の予定～

- ◇開催日 3月13日(金)
- ◇行事内容 花咲く春の懇親会

※ 史跡クラブでは、共に活動する仲間を、いつでも募集中です。

どで、護国院(大黒天)。寛永寺最初の子院にあたる。上野公園内を通って、最後の寺が、不忍池弁天堂(弁財天)だ。お正月の青空の下、下町情緒漂う谷中の街。七つのお寺を巡って全員、満願成就だ!! 五輪イヤーマスク開け。史跡クラブも活動の始まりだあ!!